

ひばり



令和8年2月2日
府中市立日新小学校
拠点校校長 山田 隼士

今年度も残り2か月を切りました。4月には学年が上がりますが、安心して迎えられるように指導をしていくと思います。そのためには、この一念で成長したことを認め、不安なことは一緒に考えていくという周りの大人の姿勢が大切だと考えます。子供たちの頑張りや前向きに取り組む姿勢を続けて応援していきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

★2月の予定★

<グループ交流会>※保護者も参観できます。

	日付	時間	場所
日新小学校	3月 9日 (月)	1・2時間目	1階 オープンスペース
四谷小学校	2月 24日 (火)	3・4時間目	2階 オープンスペース

<3学期 個人面談>

3学期の個人面談は下記の日程で行います。お子様の1年間の成長や今後の支援の方向性について確認させていただきます。

日程調整を GoogleForms で行います。後日、別紙でお知らせしますのでご確認ください。

日にち：3月 10日 (火) ~ 3月 23日 (月)

時間：ひばり教室指導後 各児童 20分程度

※指導後に行う関係で、日新小在籍の方は基本的に、月・水・金曜日

四谷小在籍の方は基本的に、火・木曜日に面談を行う予定です。

☆ 1月の指導より ☆



基礎グループ「協力ふくわらい」

ペアで福笑いを行いました。「伝わるように話す、相手の話を聞く」ことをめあてに行いました。貼る人は目隠しをしているため、上下左右など具体的に分かりやすく相手に伝えること、「ちょっと」の量が人によって異なることなどの感覚の違いに大苦戦。言葉で伝える難しさを実感していました。そのようなときは、言い方を変えたり、確認し合ったりすることで状況を開きました。



基礎グループ「嘘はどれだ?」

「相手の話をよく聞く」をめあてに嘘を見抜く活動です。「冬休み」をテーマに1つだけ嘘を入れた話を3つします。質問側は内容から推測して具体的な質問、話す側は内容に沿った回答をするという駆け引きにドキドキしながらそれぞれの話に耳を傾けていました。

実際に児童が考えた問題です。

- ① 16時間寝た。
- ② 徹夜した。
- ③ UFOを見た。

答えは…②です。③は「焼きそばのUFO」でした。

ひばり研修会を行いました！

「読み書きの困難さと、その土台になる力」についての研修会を1月に行い、

担任の先生や保護者の方も参加し、子どもの育ちと一緒に考える時間となりました。

講師の先生からは、読み書きの苦手さだけを見るのではなく、その前にある小さなつまずきに気づくことが大切であるというお話をありました。さらに、読み書きを“たくさんやらせる”のではなく、お家でできる体の感覚づくりが読み書きの力につながるという視点も示していただきました。当日紹介していただいたのは、家庭でも気軽に取り入れられる感覚づくりで、とても好評だったため、ひばりだよりでもご紹介しています。

○ 家庭でできる感覚づくり

ギューギュー



- ① 子どもはうつぶせ
- ② 肩甲骨の下に手を置き、15秒ぎゅーっと押す
- ③ 10秒かけてゆっくり力を抜く
- ④ 力加減を子どもに聞きながら、
背中 → まんなか → 腰へと順に下していく

【ポイント】

- ☆ 「これくらい？」と確認しながら無理のない力で
- ☆ 深い圧が安心感や姿勢づくりの土台に

金魚運動



- ① 子どもは仰向け
- ② 大人が足首を持って左右にゆらゆら揺らす
- ③ 「どこが揺れてる？」と確認
- ④ 最初は足の感覚だけを感じやすいが、
背中 → おなか → 胸 → 頭へ揺れが上がって
くればOK！（1分程度続ける）

【ポイント】

- ☆ 揺らしすぎず、小さく・一定のリズムで。
- ☆ 感覚が鈍い子は揺れの広がりに気づきにくい
ので、焦らずゆっくり

ちょっとやるだけで、寝つきがよくなったり、気持ちがふっと落ち着いたりする子が本当に多いそうです。
どちらもすぐにできて、親子の“あったかい時間”にもなります。ぜひ、お家でやってみてくださいね。

【参加していただいた保護者の方より】

- ・ 今日教えていただいた運動を少しずつ家でやってみます！いろんな理由が分かって非常に良かったです。
- ・ 教えていただいたギューギューや手押し車をさっそくやってみます。
- ・ とても有意義であっという間に時間が過ぎました。実際に教えていただいた運動がすぐにでも実践できそうで難しいと思っていたものが身近なものとなりました。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。

これからも、学校と家庭で力を合わせて、子どもたちを支えていきましょう。

